

令和2年度 佐敷中学校 学校版環境ISOへの取組

1 環境ISO宣言

生徒の宣言項目と数値目標

- 1 水を節水します。(歯磨き用コップ及び掃除の際にバケツを使用:他者と協力する態度)
- 2 電気を節約します。(使用していない教室や清掃時は照明やエアコンのスイッチを切る:他者と協力する態度)
- 3 紙やゴミをきちんと分別し、ゴミの減量を呼びかけます。(多面的、総合的に考える力)
- 4 エコ活動に進んで取り組みます。(残菜ゼロ、環境新聞の発行:多面的、総合的に考える力)

- 1 節水 現状維持
2 節電 昨年度(基準年度)比2%削減

職員の宣言項目と数値目標

- 1 両面印刷を心がけて、紙の消費を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減と環境保全に努めます。(多面的、総合的に考える力)
- 2 OA機器のスイッチをこまめに切るなど電気を節約します。(他者と協力する態度)
- 3 紙やゴミをきちんと分別します。(多面的、総合的に考える力)

- 1 紙の消費 令和元年度(基準年度)比2%削減
2 OA機器 令和元年度(基準年度)比2%削減
3 分別 人数把握9割

- 生徒集会(放送による)
環境美化委員会の主な
活動内容の中で宣言

2 行動

●環境・美化委員会の発表

環境美化委員会の主な活動内容

- 1 花活動
- 2 環境ISOの取組
- 3 美化活動、掃除用具点検、
環境新聞作りなど

環境・美化委員会が、1年間の主な活動内容を全校生徒に知らせた。また、熊本県教育委員会から学校版環境ISOの取組の好事例校として佐敷中学校が掲載されていることを紹介した。

●歯磨きコップと節水バケツの使用



掃除の時間は、節水バケツを使って掃除を行っている。また、給食の時間は、残菜ゼロを目指すとともに、給食後の歯磨きでは、水を節約するためマイコップを使用している。水道近くには節水を呼び掛けるポスターを掲示し、節水を呼び掛けている。

●縦割り班による無言清掃

1～3年生の縦割り班で無言清掃に取り組む

1 縦割り班活動

- (1)学年間のつながりの強化
- (2)上級生のリーダーシップの育成
- (3)佐敷中の一体感の高揚

2 無言清掃

- (1)気づく力 (2)集中する力
- (3)我慢する力 (4)奉仕の心
- (5)勤労の心

新学期初めに、環境・美化委員会が、全校生徒へ掃除ガイダンスを行い、縦割り掃除の目的や分担や方法、反省会の方法を確認して無言清掃に取り組んだ。

●無言清掃開始前の黙想



全校生徒が、掃除開始1分前に班ごと各掃除場所で黙想を行い、集中して無言清掃を行っている。また、清掃終了後は、班ごとに反省会を行っている。

●ごみの分別とゴミの削減



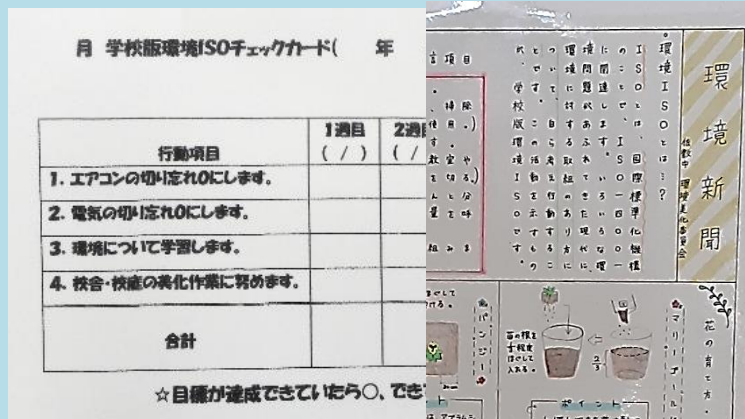
ゴミ箱の設置を各階に1つだけにし、ゴミの削減に努めている。ゴミステーションには、その他の分別回収用のゴミ箱を用意して分別をしている。

●裏紙の再利用(職員)



印刷室に種類別の見出しをつけた棚を用意して、両面印刷や裏紙の再利用に取り組んでいる。また、コピーの枚数が13枚を超える場合は、輪転機を使うようにしている。

●環境ISOチェックカード(抜粋)と環境新聞(抜粋)の発行



環境ISOの取組の振り返りとして、宣言項目に対する評価を全校生徒で取り組み、環境・美化委員が集計を行っている。また、定期的に環境新聞を発行して、環境に対する意識を高められるようにしている。

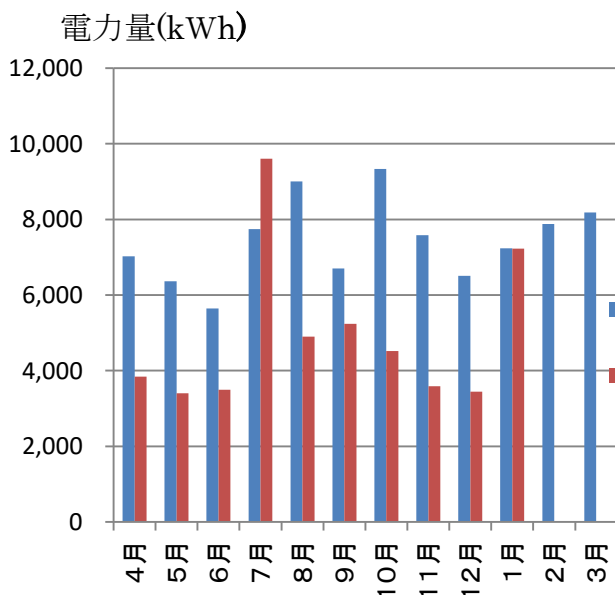
●環境ISOコーナーの設置

環境ISOの取組や環境美化委員会の活動などを掲示物にして、生徒が目に触れやすい生徒昇降口近くの場所に設置した。定期的に掲示物の内容を張り替えながら環境に対する意識の高揚に努めている。

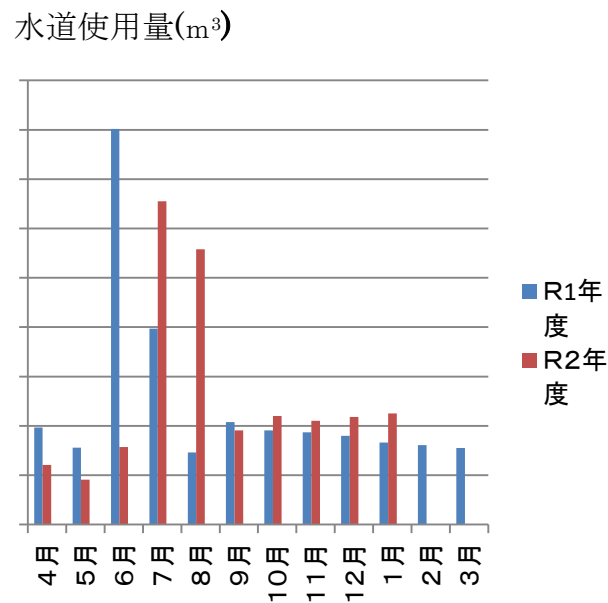


3 チェックと記録

月ごとの電気使用量



月ごとの水道使用量



4 その他の取組

●朝ボランティア清掃や一人一鉢の取組



環境・美化委員が呼びかけて、朝ボランティア清掃を行っている。呼びかけにより、朝ボランティア清掃に参加する生徒が増えつつある。今年度は、豪雨災害のため、花壇の花苗植えを定期的に行うことができなかったが、芦北高校農業科の生徒と一緒に一人一鉢の交流活動を行った。生徒一人一人が愛着を持って花がらつみなどを行って花の手入れをしている。

●学級への生け花設置



地域のボランティアの方々の協力を得て、環境・美化委員の生徒が、毎週月曜日の朝、生け花を各教室や玄関等に設置している。

●PTA美化作業の実施



豪雨災害後、9月に保護者と職員による校内の美化作業を行った。例年は、生徒と一緒に年2回行っていたが、コロナ禍と水害のためグラウンド整備を中心に行った。

5 成果と課題

○今年度は、年度当初すぐに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校となった。そのため、4・5月の電気使用量が少なくなっている。また、7月は豪雨災害があり、その後、一階教室が使用できなくなったため、昨年度よりも電気の使用量が減少している。1月は寒い日が続いたこともあり、暖房器具による電気の使用量が昨年と同じ程度になったものと考えられる。水道の使用量については、今年度7月、8月の使用量が多くなっている。これは、7月の豪雨災害後の片づけや清掃のため水道を使うことが多かったためと考えられる。コロナ禍や豪雨災害のため電気や水道の使用量が大きく変動してしまった。環境ISO宣言による水の節水や電気の節約については、どの程度取り組めたか分析することが難しかった。しかし、クラスで環境ISOチェックを行い、環境・美化委員長が定期的に環境ISOチェックの結果を放送で全校生徒に伝えているため生徒への意識づけはできつつあると思う。

○環境・美化委員会の常時活動として、生け花ボランティア活動や朝ボランティア清掃がある。責任を持って生け花をしたり朝清掃をしたりしている。また、一人一鉢の花がらつみを全校生徒で行うなど、環境美化委員会から各学級へ積極的に呼びかけることもできた。

●今後、環境に対する意識を全校生徒で継続して高めることができるように掲示物や給食時の放送などで更に啓発を行ってきたい。